

TAKEHISA YUMEJI

夢

「絵で詩をかいてみた」

「私は詩人になりたいと思った。けれど、私の詩稿はパンの代りにはなりません。ある時、私は、文字の代りに絵の形式で詩を書いてみた。それが意外にもある雑誌に発表せられることになったので、臆病な私の心は驚喜した。」

竹久夢二 画集 春の巻 序文 明治四十二年

竹久夢二美術館

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2
TEL 03(5689)0462



「鴨川情話」大正6年(1917)



セノオ楽譜「宵待草」大正7年(1918)



「山へよする」(表紙)大正8年(1919)

文学

竹久夢二の抒情画・著作・装幀

2021
7.3 SAT

9.26 SUN

<https://www.yayoi-yumeji-museum.jp>

竹久夢二「夢よ浅かれ」大正15年(1926)



開催概要

大正ロマンの画家として知られる竹久夢二 (1884-1934)。実は詩人や文筆家としての顔も持ち、300冊以上の本の装幀も手掛けたデザイナーでもあったことはご存じですか？

夢二ははじめ詩人になりたいと思い、「繪(え)の形式で詩を畫(か)いてみた」ことから画家として歩みはじめます。夢二の絵に漂う詩情は、彼の作品の大きな魅力の一つです。また、「宵待草」に代表される詩や物語も創作し、57冊の著作本も刊行しています。さらに、他の作家の著作のブックデザインも数多く手掛けました。

本展では抒情溢れる夢二の絵や、詩や文章、装幀本などを展示し、夢二作品の文学性や、文学との関わりをご紹介します。

たけひさゆめじ 竹久夢二

明治17年-昭和9年
1884-1934



9月16日、岡山県生。

早稲田実業学校在学中より雑誌へ投稿し、明治38年末にデビュー。以後コマ絵や挿絵を数多く発表、またセンチメンタルな画風の〈夢二式美人画〉を確立し一世を風靡した。

画壇に属さず、日本の郷愁と西欧のモダニズムを自在に表現した作風で、日本画・水彩画・油彩画・木版画制作などを行った。

夢二は恋多く、旅を重ね、漂泊の人生を歩んだ。

9月1日、富士見高原療養所にて49歳で没。

独自の芸術世界を形成した、大正ロマンを象徴する存在として、高く評価されている。

※展覧会会期中に誕生日と命日があります

展覧会のみどころ

◆ 画家として知られる夢二を「文学」の視点から見る

自らの絵を「無声詩」と呼んだ夢二。絵と言葉が共鳴する作品世界を紹介します。

◆ 絵だけじゃない！夢二の詩や文章も紹介

やさしい言葉で書かれ、現代人にも親しみやすい夢二の詩、新聞の連載小説を書いていたこともありました。

◆ 魅力的な装幀の数々 デザイナーとしての才能も

自著以外にも多くの本の装幀を手掛けた夢二。同時代の作家との交流も紹介します。

「抒情画」



① 夢よ浅かれ 大正15年(1926)

本を手に物語の世界へ想いを馳せ夢見ているような少女の姿。少女雑誌の口絵として掲載された抒情画。センチメンタルな詩情が漂う。

「著作」



② 『山へよする』 大正8年(1919)

最愛の恋人・笠井彦乃へ捧げられた夢二の代表歌集。夢二の短歌と装幀・挿画とが共鳴する作品。冒頭には与謝野晶子・柳原白蓮・茅野雅子が歌を寄せている。

「装幀」



③ 『鴨川情話』(長田幹彦著) 大正6年(1917)

夢二は長田幹彦の本の装幀を40冊以上手掛けた。長田は「夢二が装幀をしてくれたことは幸福だった、装幀故に本を買ってくれた人は数多かった」と語った。

待てど 暮らせど 来ぬひとを
宵待草の やるせなさ
今宵は 月も 出ぬさうな



④ セノオ楽譜「宵待草」 大正7年(1918) (第6版昭和9年)

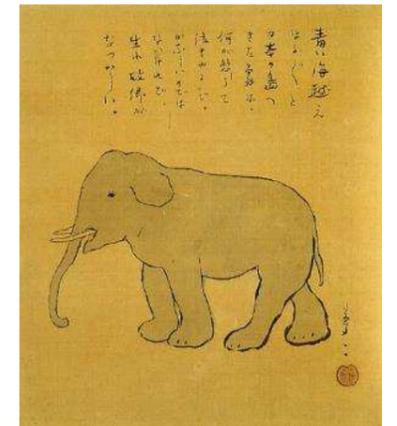
夢二の代表作として挙げられることも多い宵待草の詩。大正2年に発表した詩「宵待草」に、後年曲が付き楽譜も出版され、大正時代を代表する流行歌となった。

⑤ この夜ころ 昭和初期



格子の外に
しのびよる
夜をまたせて
化粧のひまに
昨日別れた人をまつ
逢ふた時いふことを
独言してはつかしや
この夜ころ

⑥ 青い海越えはるばると 大正3年(1914)



青い海越え
はるばると
日本の島へ
きた象は、
何が悲しうて
泣きやるぞ。
かなしいのでは
ないけれど、
生れ故郷が
なつかしい。

📷 今回の展覧会は写真撮影もOKです！

➤ 展示総数 約250点

竹久夢二美術館

◆ Bar 十誠 × 竹久夢二美術館 コラボ企画 ◆

竹久夢二美術館は平成2年(1990)に開館した、都内で唯一常時竹久夢二の作品を鑑賞できる美術館です。〈夢二式美人画〉からモダンなデザイン作品まで、幅広く大正ロマンの世界をお楽しみいただけます。



館が建つ東京・本郷は、夢二が滞在した〈菊富士ホテル〉がかつてあり、また最愛の女性・笠井彦乃と逢瀬を重ねた場所で、今なお昔の風情を留めて静けさと木々の緑に包まれています。

銀座にある BOOK Café Bar 十誠とのコラボ企画を実施します。

展覧会チケット半券をお持ちいただくと、8、9月限定で提供される竹久夢二をイメージしたカクテルが100円割引となります。また、Bar 十誠で配布される



当館のチラシ・フライヤーをお持ちいただくと、入館料が100円割引となります。

8月提供予定の竹久夢二イメージカクテル
国産シードルを使用した
レトロなフルーツポンチ
スタイルの和風のカクテル。

開催概要

◆ 展覧会名称 夢二 × 文学 「絵で詩をかいてみた」 — 竹久夢二の抒情画・著作・装幀 —

◆ 主催・会場 竹久夢二美術館

◆ 住所 〒113-0032
東京都文京区弥生2-4-2

◆ 電話 03-5689-0462

◆ 会期 2021年7月3日(土) ~ 2021年9月26日(日)

◆ 休館日 月曜日・火曜日
*ただし7/19(月・祝)、9/20(月・祝)開館
※新型コロナウイルスの影響により、休館日等が変更になる場合があります。

◆ 開館時間 午前10時30分~午後4時30分(入館は4時まで)

◆ 入館料 一般 1000円 / 大・高生 900円 / 中・小生 500円
*弥生美術館と二館併せてご覧頂けます。

◆ ホームページ <https://www.yayoi-yumeji-museum.jp>
* Twitter、Facebook、Instagram でも情報発信中!

◆ 出展作品 日本画、水彩画、書籍、雑誌など約250点

◆ 交通 東京メトロ千代田線〈根津駅〉及び
南北線〈東大前駅〉よりいずれも徒歩7分
J R 上野駅 公園口より徒歩20分



チラシ画像



※新型コロナウイルス感染予防対策のため、**オンラインによる事前予約**をお願いしております。

☎ 展覧会についてのお問い合わせは・・・

竹久夢二美術館 学芸員 中川 春香 までお願いいたします。

Tel : 03-5689-0462 Fax : 03-3812-0699

夢二×文学「絵で詩をかいてみた」 画像使用申込書

画像データのご提供について

- ・同封のプレスリリースに掲載の図版について、本展の広報用に限り画像データをお貸出いたします。ご希望の場合は、この申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX 03-3812-0699でお送りください。使用後はデータの破棄をお願いいたします。
- ・美術館写真（外観／展示室）、竹久夢二肖像写真等もご提供しておりますので、ご希望の場合はご一報ください。
- ・掲載・放映後は、掲載紙・DVD等下記住所までお送りいただきますようお願い申し上げます。

読者プレゼント用招待券のご提供について

読者プレゼント用にご招待券（5組10名様分）をご用意いたします。この用紙にてお申し込みください。

画像送付日 月 日 必着

貴社名／貴媒体名	
発売／放送予定日	
ご所属・ご担当者名	
ご住所 〒	
TEL	FAX
メールアドレス	

ご希望の図版番号にチェックを入れてください。（プレスリリースをご参照ください）

<input type="checkbox"/>	①	夢よ浅かれ	<input type="checkbox"/>	⑥	青い海越えはるばると
<input type="checkbox"/>	②	『山へよする』	<input type="checkbox"/>		竹久夢二肖像写真
<input type="checkbox"/>	③	『鴨川情話』（長田幹彦著）			
<input type="checkbox"/>	④	セノオ楽譜「宵待草」			
<input type="checkbox"/>	⑤	この夜ごろ			
<input type="checkbox"/>	チラシ画像				

読者プレゼント招待券（5組10名）	希望する	希望しない
-------------------	------	-------